

うどんまるごと循環プロジェクト

ひろげる助成

3年目

実践

食品残渣の
バイオガス化した処理量 **300t**

エコツアーや
出前講座など普及啓発 **500人**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **80%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

エコツアーや出前教室のほか、イベントでの広報活動を通じて、プロジェクトの活動を活性化し、主催イベントの参加者やメンバーなど協力者を増やすことに苦労した。

■ 工夫した点

地球環境基金のコンサルテーションでのアドバイスを受け、プロジェクトのメンバーの思いを伝えるようにしたところ、若干ではあるが、協力者が増えてきた。



エコツアーによる普及啓発

課題

香川といえばさぬきうどん。その食べ残し等を焼却処分からバイオガス化、発電、堆肥化へとシフトし、エネルギー循環を目指したい。また発生源である食品ロスを削減したい。

目標

うどん残渣などの食品廃棄物が有効な資源として循環する仕組みが自治体の政策・施策に反映され、こうした活動が市民生活や企業活動の中で一般化されるようになる。

活動内容と成果

うどん残渣等の食品廃棄物を約300t 受け入れ、本来焼却時に発生する二酸化炭素を97t削減した。うどんの残渣からできた肥料を使って小麦の栽培を行い、うどんを作るという循環の過程を小学校等での出前講座6回、エコツアー4回で紹介し、約500人を対象に理解を深めた。食品ロスの削減については県の協議会に参画し、働きかけを行うことができた。報道機関へは情報提供を頻繁に行い、5回にわたり報道等がなされた。



小麦栽培・収穫の様子

全助成期間の活動を振り返って

うどん残渣をはじめとする食品廃棄物のバイオガス化については、一定の量が処理できた。一方でエコツアーや出前講座、イベントを通じて多くの人の興味・関心を引き出し、理解を得ることができた。活動を通じて多くのステークホルダーとつながる機会を得、その結果、自治体の協議会への参画や他プロジェクトとの意見交換などの面的な拡がりがあり、次の展開へつながるきっかけを得ることができた。



小学校での授業の様子

| 活動地域 |  香川県

〒761-1406 香川県高松市香南町西庄941-5

電話：087-879-7911

E-mail：info@new-earth.jp

<https://www.udon0510.com/>



今後の
展望

このプロジェクトに関わるメンバーそれぞれが自分の足場と専門性を持っているため、得意なことをいかして関わっていくというスタンスは今後も継続していく予定である。その中で、このプロジェクトを軸としながら、食品ロスやフードバンクなど、循環型社会構築のための他の要素とも関わりを持ちつつ、広義ではSDGsの目標達成に寄与できるような展開を行っていきたく考えている。